

夢をかなえるために 学んだことを 自分の言葉で 語れる子どもを育てる

学校教育目標

「夢もち たくましく」

心を磨き
知性を高め
身体を鍛え
共に生きん北広島市立
東部中学校

ひろがり

税の作文で最高賞!

独占!

札幌南税務署長賞

札幌南税務連絡協議会会長賞

東部中学校に感謝状

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁が主催している「税についての作文」ですが、毎年3年生の社会の授業で取り組んでいます。今年度も1299点の応募作品（札幌地区・石狩管内の学校）の中から、本校の生徒が札幌南税務署長賞（一番いい賞です）と2名が札幌南税務連絡協議会会長賞（二番目にいい賞です）に入選しました。学校としても、納税の大切さに貢献しているとして感謝状を受けました。本来であれば、岸さんは札幌南税務署一日署長として勤務する予定でしたが、コロナ禍ということで中止となりました。表彰については、賞状等が送付されたい校長室で実施したいと思います。

「ふるさと納税の制度について」

札幌南税務署長賞

私の家ではよく晩ご飯などに他県や地方の食材が出てくることがあります。これは、「ふるさと納税」を行っているからです。しかし、私はふるさと納税のどんなしくみでそれらの食材を食べていたのか考えたことがありませんでした。こういった疑問から、今回、この機会にふるさと納税について調べてみました。

ふるさと納税とは、生まれた故郷や応援したい自治体に寄付ができる制度だそうです。また、ふるさと納税には三つの利点があり、一つはお礼の品がもらえることで、多くの自治体では、寄付への感謝として、地域の名産品などをお礼の品にして寄付者に届けているそうです。ですから、私の家でもいろいろな地域の食材が食べられていたのです。

二つめの利点は、税金が還付されることです。ふるさと納税では、控除上限額内で寄付を行うと、合計寄付額から二千年を引いた額について、所得税の還付、住民税の控除を受けることができます。

三つめは寄付金の使い道を指定できる点です。寄付金を自治体がどのように使用するのか、自分でその用途を選択できるそうです。

この三つの利点の他にもふるさと納税には納税者側、自治体側それぞれにメリットがあることがわかりました。私は納税者側は特産物を獲得することができ、自治体側は被災地の復旧や復興に役立てたり、広範囲から財政収入を確保できる、ということを知り、双方向に良いやりとりができる優れたシステムだと思いました。

また、現在新型コロナウイルスが流行していますが、ふるさと納税のシステムを利用すれば、直接地方に行かなくてもその地方の特産品などを得られるので、今の状況でも楽しめると思います。逆に、ふるさと納税で他の地方の魅力を知って実際に行ってみるということもできます。そうすれば各地方の観光業などの第三次産業も発展していくと思います。

このようにふるさと納税を利用すれば、たくさんのメリットがあるので、私も大人になったら利用してみたいと思いました。